

立川防災航空祭における航空機騒音の軽減等について（要請）

立川駐屯地において、来る令和元年11月9日（土）に立川防災航空祭が開催され、例年、編隊飛行や体験搭乗飛行等が実施されると聞いております。

立川飛行場の周辺は市街化が進展し、航空機騒音に対する苦情や安全面の要望が多く寄せられております。

また、本年6月21日（金）には、陸上自衛隊立川駐屯地所属のUH-1ヘリコプターが同駐屯地内で着陸する事故もあり、飛行場周辺住民の不安は一層高まっております。

つきましては、立川飛行場周辺自治体連絡会は、立川防災航空祭の開催に当たり、次のことを要請します。

記

- 立川防災航空祭に関わる航空機の当日及び予行訓練時の飛行に当たっては、災害活動を想定した必要最小限の飛行にとどめ、航空機騒音の軽減に努めるとともに細心の注意を払うこと。特に編隊飛行に加え、体験搭乗飛行については、周辺地域への影響が大きいため中止すること。やむを得ず実施する場合は、必要最小限の飛行にとどめ、その必要性を広く周知すること。
- 会場内及び立川飛行場周辺の安全対策を徹底すること。

令和元年10月28日

警視庁航空隊 隊長 高島 敦 殿

立川飛行場周辺自治体連絡会構成市長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
小平市長	小林正則
日野市長	大坪冬彦
国分寺市長	井澤邦夫
国立市長	永見理夫
東大和市長	尾崎保夫
武蔵村山市長	藤野 勝

幹事 立川市長 清水庄平

